

東京方面の利用が可能に！交差点改良や歩道設置も進行中

三芳スマート IC フル化整備に向けて

図 道路交通課スマート IC 整備担当 227・228

現在、三芳スマート IC では東京方面への出入りを可能とし、車種制限を大型車（車長 12 m以下）まで拡大するフル化整備事業が進んでいます。この事業に関連し、主要なアクセス道路における交差点改良や歩道整備も国の交付金を活用し、短期間に複数箇所道路整備を実施していきます。

【周辺道路整備】安全対策もしっかり行っていきます

町内 4 か所の交差点改良、幹線 14 号線の歩道整備を計画しています。準備が整った箇所から順次工事に着手しています。

三芳中学校前交差点改良工事



平成 28 年度着手、平成 30 年度完了予定。
右折レーンを北側・東側に設置し、円滑な交通を実現する。

幹線 14 号線区画線等設置工事【こすず幼稚園前区間】



歩行者の安全と大型車の通行抑制を図るため、幅員を減少させ、歩行帯を設置。

今年度から企業誘致担当を新設

企業誘致・留置を推進中

図 都市計画課企業誘致担当 234

優良企業を誘致し地域産業の発展と雇用確保、財政基盤の安定を図るため今年度から都市計画課に企業誘致担当を設置。関越自動車道周辺は関東の物流拠点として注目されていて、三芳スマート IC フル化整備を推進中です。また、町内既存企業が操業しやすい環境づくりをする企業留置も併せて推進していきます。

町の財政基盤が安定



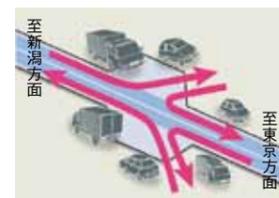
▶スマート IC とは？

今まで高速道路の通過地点となっていた地域の活性化を推進するため、建設・管理コストの削減が可能な ETC 専用インターチェンジのことをスマート IC と言います。三芳スマート IC は、平成 18 年 10 月に恒久化が実現。車種制限のあるハーフ運用（新潟方面の出入り限定）としてスタートしました。

▶スマート IC を活用したまちづくり

第 5 次総合計画では重点プロジェクトに「西の玄関口プロジェクト」を位置づけ、まちづくりの各分野で三芳スマート IC を活かした戦略的なまちづくりを展開していきます。

▶フルインター化（整備後）

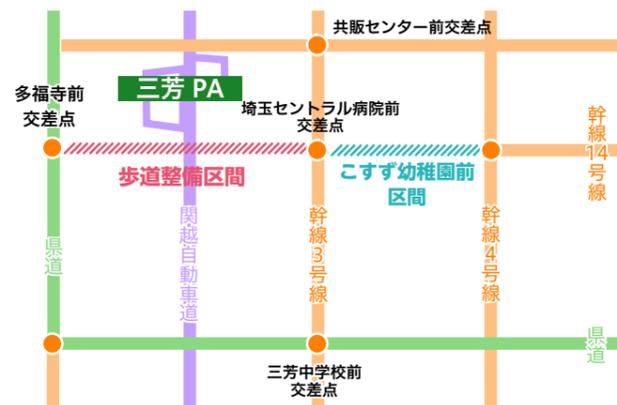


利用可能方面
新潟・東京方面

利用車種
12m 以内（観光バス・トラック等まで）※トレーラーは不可

▶周辺道路の主な整備エリア

スマート IC フル化整備に関連して、下図の箇所の交差点改良と歩道整備を実施していきます。



▶区域指定により企業立地を促進

*町道幹線 3 号線沿線は市街化調整区域ですが、都市計画法に基づく区域指定により企業立地が可能となりました。

*町道幹線 3 号線沿線は三芳町第 5 次総合計画で、三芳スマート IC を交通拠点とした「産業誘致ゾーン」として、植樹などの緑化推進をしながら産業系施設の誘導を図る「みどり共生産業ゾーン」に定められています。

▶企業立地支援窓口を設置

企業向けに幅広い情報提供を行い、関係機関との連絡調整を行う相談窓口として企業誘致担当を設置。お気軽にお問い合わせください。

▶企業留置

企業が抱えている問題や情報をいち早く把握するため、町長の企業訪問を実施するなどし、企業留置に努めていきます。今年度は、第 1 弾で 6 月に㈱ピクルスコーポレーションを訪問し、要望や課題の情報交換を行いました。



活用に向けた動き 賑わいバザール公園構想の検討

今年度は、商業拠点や交通拠点となる道の駅の要素を取り入れた拠点整備に向け、基本構想を策定していく予定です。様々な調査検討を進め、実現可能な規模や官民連携による整備手法なども踏まえた基本的な方向性を示していきます。

三芳町への企業立地は、いいこといっぱい

東京から 30km 圏内で地震等の災害にも強い



東京から 30km 圏内に位置し、地盤が強固で地震に強く、坂はほとんどありません。河川がないので水害の心配も少なく、企業立地には最適な環境です。

近隣に 2 つの関越道 IC！アクセスが抜群



町内に関越自動車道の三芳スマート IC、近隣に所沢 IC があり、圏央道や外環道などの好アクセス。関東の製造・物流拠点として最適な地域です。

計画的な住環境の整備
自然豊かで快適な暮らし



土地区画整理により計画的な住環境を整備。都心から近いにもかかわらず、緑豊かな自然が多く残り、企業の従業員に快適な生活環境を提供します。

